



報道関係者各位

MC デジタル・リアルティ、コロケーションサービス用データホールの電力を 100%実質再生可能エネルギーに転換

2023年4月18日、東京発 - データセンター、コロケーション、相互接続サービスを日本国内にて展開する MC デジタル・リアルティ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 畠山孝成、以下：MCDR）は、持続可能な社会の実現を加速させることを目的に、環境問題の解決に貢献すべく、NRT10 データセンターおよび KIX11 データセンター内のコロケーションサービス用データホールで使用する電力を実質 100%再生可能エネルギーに転換することを決定しました。

本件は、MC リテールエナジー株式会社より、コロケーションサービス用データホールに対するトラッキング付 FIT 非化石証書*1 を継続的に調達することで実現され、2023年1月以降に使用の電力に適用されます。本件により、1年間で一般家庭 1,200 世帯分にあたる CO2 排出量約 2,150 トンが削減されることとなります。

この取り組みにより、当社のコロケーションサービスをご利用いただくお客様は別途非化石電力の調達手続き等を行う必要なく、シームレスに IT インフラの脱炭素化を図ることが可能になります。

また、スケールサービス用データホールにつきましても、お客様のご要望にしたいがい、実質 100%再生可能エネルギーの導入が可能となっております。

MCDR は、2023年3月28日発表のグリーンボンドによる資金調達に続き、今後も持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

*1 再生可能エネルギーの普及促進のために設けられた「固定価格買取制度」の対象となる非化石電源（石炭や石油といった化石燃料を使用せずに発電する電源）によって発電された電気の実環境配慮の価値を証書化したもの。

MC デジタル・リアルティについて

MC デジタル・リアルティ株式会社は、三菱商事株式会社と Digital Realty Trust Inc.（米国上場リート）の折半合弁会社として 2017年9月に設立されました。大手クラウド事業者等の顧客がデータ処理等を行う上で必要な高い堅牢性とセキュリティ、安定した電力・空調、並びにネットワークサービス等を 24時間 365日提供します。

三菱商事の IT や不動産・インフラ知見、並びに、業界大手 Digital Realty のグローバルな顧客網と、大規模データセンターの開発・運用知見を活かし、本邦データセンター業界を牽引し、社会の発展に貢献します。

※掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。

【本リリースに関するお問合せ先について】

MC デジタル・リアルティ株式会社 マーケティング

Email: marketing@mc-digitalrealty.com

Website: <https://www.mc-digitalrealty.com>

1ラック単位で
高性能設備を
ご提供

コロケーション

コロケーションとはエンタープライズ向けで、ハイパースケール向けと同等の設備を1ラック単位で提供するサービスです。

優位性 **高密度ラックへの集約** お客様の要件にフレキシブルな対応

お客様の要件に応じて柔軟な構成に対応しております。また、高密度ラックは大容量の電力を消費するスパコンや、ハイパフォーマンスコンピューティングにも最適です。

既存環境：
3ラック x 3kW

弊社DC：
1ラック x 9kW

集約

高さ
×
電力
×
荷重

高密度ラックへの集約による主な効果

- ラックやスペースの**コスト削減**
- ネットワーク機器、ケーブリングの**コスト削減**
- スパコン・HPCにも**最適**
- 障害ポイントの**減少**
- 運用管理、**効率の向上**

	一般的なデータセンター	当社のデータセンター
ラックサイズ	700×1000×2000 (42U)	700×1200×2200 (46U)
供給電力(ラックあたり)	平均3kW(最大消費電力)	平均9kW(最大消費電力)
積載重量(ラックあたり)	400~800kg	1000kg(架台不要)

KIX11概要

- オープン: 2019年6月
- 延床面積: 23029.47㎡
- サーバ用電源容量: 25MW
- 収容可能ラック数: 約3,100ラック
- 建物構造: 地上4階、免震構造

NRT10概要

- オープン: 2021年9月
- 延床面積: 37,850㎡
- サーバ用電源容量: 38MW
- 収容可能ラック数: 約4,800ラック
- 建物構造: 地上5階、免震構造